

注3

大学番号：私立044

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

駿河台大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駿河台大学  
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 カクムフチョウサイトウ 学務部長・斎藤 文洋

電話番号 042-972-1110

（夜間） 042-972-1111

F A X 042-972-1179

e-mail kyoumu@surugadai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 駿河台大学

## (2) 大学名

駿河台大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒357-8555

埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イヱ 勉ノブ) 入江 孝信 (H29.9.1)		
学長	(オモリ カズヒロ) 大森 一宏 (H31.4.1)		
学部長	(ヨシノ 勉ノブ) 吉野 貴順 (R2.4.1)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ科学部 スポーツ科学科 学士(スポーツ科学)	体育関係	4年	200人	年次一人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	200 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.19倍	-	
志願者数	816 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	782 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	265 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	238 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.19												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	238 ( - ) [ - ]	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			238 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	238 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{238} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 基 礎 科 目 群 ・ 教 養 基 礎 科 目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1				1
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	6	3				4
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	6	3				4
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1									1
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1									1
	倫理学Ⅰ	1・2前		2								1
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1						
	文学Ⅰ	1・2前		2								2
	文学Ⅱ	1・2後		2								2
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2								2
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2								1
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1						
	国際社会と日本	1・2後		2					1			
	北欧文化論	1・2後		2								1
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			2	4	1				8
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			2	4	1				8
	憲法概論	1・2後		2								1
	経済学Ⅰ	1・2前		2								1
	経済学Ⅱ	1・2後		2								1
	歴史学Ⅰ	1・2前		2								2
	歴史学Ⅱ	1・2後		2								1
	観光学	1・2後		2		1						
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2								1
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2								1
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2								1
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2								1
	生命の科学Ⅰ	1・2前		2								1
	生命の科学Ⅱ	1・2後		2								1
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2								1
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2								1
	小計(30科目)	-	10	46	0	6	7	4	0	0	0	24
	教 養 基 礎 科 目 群 ・ 教 養 発 展 科 目	プレゼミナールⅢ	2前	2			4	5	2			
プレゼミナールⅣ		2後	2			4	5	2				4
日本の暮らしと文化		2・3前		2		1						
欧米の暮らしと文化		2・3後		2				1				
異文化と文学		2・3前		2								1
日本伝統文化論		2・3後		2		1						
コミュニケーション論		2・3後		2								1
インターネット文化論		2・3前		2								1
子ども文化論		2・3前・後		2								1
現代人と心理Ⅰ		2・3前		2								1
現代人と心理Ⅱ		2・3後		2								1
現代社会と法		2・3前		2								1
ライフサイクルと社会保障		2・3後		2								1
労働と社会		2・3後		2								1
ジェンダー論		2・3後		2		1						1
ホスピタリティ論		2・3後		2								1
現代社会とメディア		2・3後		2								1
労働衛生Ⅰ		2前		2			1					
労働衛生Ⅱ		2・3後		2			1					
労働基準法		2・3前		2								1
労働安全衛生法Ⅰ		2・3前		2								1
労働安全衛生法Ⅱ		2・3後		2								1
小計(22科目)		-	4	40	0	5	5	2	0	0	0	16

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教 養 基 礎 科 目 群 ・ 教 養 基 礎 科 目	教養基礎講座	1前	2			3	1	1				1	
	プレゼミナールⅠ	1前	2			3	4	4				4	
	プレゼミナールⅡ	1後	2			3	4	4				4	
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1									4	
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1									4	
	倫理学Ⅰ	1・2前		2								1	
	倫理学Ⅱ	1・2後		2		1							
	文学Ⅰ	1・2前		2								3	
	文学Ⅱ	1・2後		2								3	
	こころの科学Ⅰ	1・2前		2								2	
	こころの科学Ⅱ	1・2後		2								2	
	日本の文化と倫理	1・2前		2		1							
	国際社会と日本	1・2後		2					1				
	北欧文化論	1・2後		2								1	
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1前	1			2	4	1				4	
	健康・スポーツ実習Ⅱ	1後	1			2	4	1				4	
	憲法概論	1・2後		2								2	
	経済学Ⅰ	1・2前		2								1	
	経済学Ⅱ	1・2後		2								1	
	歴史学Ⅰ	1・2前		2								3	
	歴史学Ⅱ	1・2後		2								2	
	観光学	1・2後		2		1							
	現代自然科学Ⅰ	1・2前		2								1	
	現代自然科学Ⅱ	1・2後		2								1	
	環境生物学Ⅰ	1・2前		2								1	
	環境生物学Ⅱ	1・2後		2								1	
	生命の科学Ⅰ (未開講)	1・2前		2									
	生命の科学Ⅱ (未開講)	1・2後		2									
	からだの科学Ⅰ	1・2前		2								1	
	からだの科学Ⅱ	1・2後		2								1	
	小計(30科目)	-	10	46	0	6	7	4	5	4	5	0	29
	教 養 基 礎 科 目 群 ・ 教 養 発 展 科 目	プレゼミナールⅢ	2前	2			4	5	2				4
プレゼミナールⅣ		2後	2			4	5	2				4	
日本の暮らしと文化		2・3前		2		1							
欧米の暮らしと文化		2・3後		2				1					
異文化と文学		2・3前		2								1	
日本伝統文化論		2・3後		2		1							
コミュニケーション論		2・3後		2								1	
インターネット文化論		2・3前		2								1	
子ども文化論		2・3前・後		2								1	
現代人と心理Ⅰ		2・3前		2								1	
現代人と心理Ⅱ		2・3後		2								1	
現代社会と法		2・3前		2								1	
ライフサイクルと社会保障		2・3後		2								1	
労働と社会		2・3後		2								1	
ジェンダー論		2・3後		2		1						1	
ホスピタリティ論		2・3後		2								1	
現代社会とメディア		2・3後		2								1	
人工知能概論		2・3後		2								1	
労働衛生Ⅰ		2前		2			1						
労働衛生Ⅱ		2・3後		2			1						
労働基準法		2・3前		2								1	
労働安全衛生法Ⅰ		2・3前		2								1	
労働安全衛生法Ⅱ		2・3後		2								1	
小計(23科目)		-	4	42	0	5	5	2	0	0	0	17	









## 卒業要件及び履修方法

&lt;卒業要件単位&gt; 124単位

○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上  
 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上  
 ○地域科目…4単位以上  
 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上  
 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修)  
 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修  
 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる  
 ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上  
 ○専攻導入科目…13単位必修  
 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(バドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上  
 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上

○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上  
 ○演習科目…8単位必修

○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。

○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。  
 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。  
 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ)

&lt;年間履修上限単位数&gt; 1年次が44単位、2年次以降は46単位

## 卒業要件及び履修方法

&lt;卒業要件単位&gt; 124単位

○教養基礎科目…必修10単位を含む18単位以上  
 ○教養発展科目…必修4単位を含む10単位以上  
 ○地域科目…4単位以上  
 ○外国語科目…必修8単位を含む10単位以上  
 必修外国語…(第1外国語…「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」の4単位必修、日本語以外を母語とする学生は、英語に替えて「日本語ⅠA」「日本語ⅠB」「日本語ⅡA」「日本語ⅡB」の4単位必修、第2外国語…母語及び第1外国語以外の1言語4単位必修)  
 選択必修外国語…第1外国語または第2外国語として選択したいいずれか1言語2単位を選択必修  
 自由選択外国語科目の「日本語演習Ⅰ」「日本語演習Ⅱ」は日本語以外を母語とする学生のみ履修することができる  
 ○キャリア教育科目…必修4単位を含む6単位以上  
 ○専攻導入科目…13単位必修  
 ○専攻基幹科目…講義科目必修16単位、実技科目選択必修5単位(「専門実技(ジョギング・ウォーキング)」「専門実技(体づくり運動)」より1単位、「専門実技(水泳)」「専門実技(体カトレーニング)」「専門実技(陸上競技)」「専門実技(器械運動)」「専門実技(フィットネスA)」「専門実技(フィットネスB)」「専門実技(柔道)」「専門実技(ダンス)」より1単位、「専門実技(サッカー)」「専門実技(バレーボール)」「専門実技(バスケットボール)」「専門実技(テニス)」「専門実技(ホッケー)」「専門実技(ラグビー)」より2単位、「専門実技(自然活動A)」「専門実技(自然活動B)」「専門実技(プロジェクト・アドベンチャー)」「専門実技(アクア・マリンスポーツ)」「専門実技(バドルスポーツ)」「専門実技(自然活動C)」「専門実技(スキー・スノーボード)」より1単位)を含む21単位以上  
 ○専攻発展科目…「スポーツ測定法」「スポーツ心理学」「健康とスポーツの医学A」「運動学」「スポーツ生理学」「健康と文化」「スポーツ政策論」「生涯スポーツ論」「スポーツ人類学」より10単位、「スポーツコーチング論」「スポーツ指導者論」「アスレティックトレーナー論」より2単位、「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」より1単位を含む30単位以上

○自由選択単位…専攻基幹科目(実技科目)及び専攻発展科目の卒業要件単位を超えた修得単位4単位以上  
 ○演習科目…8単位必修

○「スポーツ健康実習」「スポーツ教育実習」「地域スポーツ実習」の履修条件…専攻導入科目のすべて(7科目13単位)を履修し、専攻基幹科目(講義科目)のすべて(8科目16単位)を履修し、専攻基幹科目(実技科目)のうち「ジョギング・ウォーキング」又は「体づくり運動」のいずれか1科目1単位を含む3科目3単位以上を履修した上で、進路に応じた科目として「スポーツ健康実習」は「スポーツ生理学」「スポーツ測定法」「健康とスポーツの医学A」「健康と文化」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。「スポーツ教育実習」は「健康と文化」「生涯スポーツ論」「運動学」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。「地域スポーツ実習」は「運動学」「スポーツ人類学」「スポーツ政策論」のうちいずれか2科目4単位以上を履修していること。

○教職課程科目については、教職課程履修者のみ履修することができる。  
 なお、次に掲げる科目は「大学が独自に設定する科目の履修」の単位に算入できる。  
 「教育と法」「教育と文化」「道德教育の理論と方法」(高等学校教諭一種免許状のみ)

&lt;年間履修上限単位数&gt; 1年次が44単位、2年次以降は46単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・プレゼминаールⅠ及びプレゼминаールⅡ：令和3年度就任予定の准教授1名を除く15コマで開設するとともに、准教授1名について昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定。専任教員等の配置を准教授6・講師3から准教授4・講師4に変更。
- ・コンピュータ・リテラシーⅠ及びコンピュータ・リテラシーⅡ：担当教員の負担軽減のため、兼任講師1名、兼任講師2名を追加。「兼1」から「兼4」に変更。
- ・文学Ⅰ及び文学Ⅱ：教育課程の充実のため兼任講師1名を追加し、各1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・こころの科学Ⅰ：担当教員の負担減のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更。
- ・こころの科学Ⅱ：教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・健康・スポーツ実習Ⅰ及び健康・スポーツ実習Ⅱ：年次計画に基づき各6コマ開講。「教授1」「講師1」「兼4」に変更。
- ・憲法概論：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し、1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・経済学Ⅰ：教育効果を考慮し開講期を後期に変更。
- ・経済学Ⅱ：担当教員の学部長就任に伴い、兼任教員に変更するとともに開講期を前期に変更。
- ・歴史学Ⅰ：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・歴史学Ⅱ：教育課程の充実のため、兼任講師1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・生命の科学Ⅰ及び生命の科学Ⅱ：担当教員の副学長就任のため未開講。
- ・人工知能概論：教育課程の充実のため、兼任教員1名による科目を新設。
- ・労働基準法及び労働安全衛生法Ⅰ並びに労働安全衛生法Ⅱ：担当教員の他大学出講に伴う就任辞退により別の兼任教員に変更。
- ・飯能学：担当教員の在外研究に伴い、開講期を前期に変更。
- ・地域環境論：担当教員の副学長就任のため未開講。
- ・森林文化Ⅰ：教育内容の充実のため、兼任教員1名、兼任教員1名を追加。「教授1」「兼1」から「教授1」「兼3」に変更。
- ・森林文化Ⅱ：年次計画及び教育内容の充実のため、兼任教員1名、兼任教員1名を追加。「教授1」「兼1」から「兼3」に変更。
- ・インターシップⅡ：担当教員の負担軽減及び教育内容の充実のため、兼任教員1名を別の兼任教員に変更するとともに兼任教員5名を追加。「兼3」から「兼8」に変更。
- ・まちづくり実践：教育内容の充実のため、兼任教員3名を追加。「教授2」「兼1」から「教授2」「兼4」に変更。
- ・英語ⅠA及び英語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員4名及び兼任教員1名について、別の兼任教員5名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼7」から「兼8」に変更。
- ・英語ⅡA及び英語ⅡB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名及び兼任教員1名について、別の兼任教員1名・兼任教員2名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「講師1」「兼3」から「講師1」「兼5」に変更。
- ・日本語ⅠA及び日本語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員1名を兼任教員1名に変更。教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・日本語ⅡA及び日本語ⅡB：教育課程の充実のため兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠB：ドイツ語希望者が少なかったため1コマ減。「兼1」を削除。
- ・ドイツ語ⅡA及びドイツ語ⅡB：ドイツ語希望者が少なかったため1コマ減。「兼2」を「兼1」に変更。
- ・フランス語ⅠA及びフランス語ⅠB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員を兼任教員に変更。
- ・中国語ⅠA及び中国語ⅠB：中国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・中国語ⅡA及び中国語ⅡB：中国語希望者が多かったことによる教育課程の充実のため、兼任教員1名を追加し1コマ増。「兼2」から「兼3」に変更。
- ・韓国語ⅡA及び韓国語ⅡB：担当教員の負担軽減のため、兼任教員2名を別の兼任教員に変更。
- ・英語演習Ⅰ：教育課程の充実のため、兼任教員3名を追加し3コマ増。「講師1」「兼1」を「講師1」「兼4」に変更。
- ・英語演習Ⅱ：教育課程の充実のため、兼任教員2名を追加し2コマ増。「兼2」を「兼4」に変更。
- ・キャリア基礎Ⅰ：教育内容の均質化のため兼任教員1名を削除。「兼2」を「兼1」に変更。
- ・救急処置法：教育効果を高めるため、開講期を後期のみに変更。
- ・専門実技（からだづくり運動）：教育効果を高めるため、開講期を前期に変更。
- ・教育と文化、スポーツ教育実習、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ、教育学概論、教育制度論、教育実習Ⅰ（事前事後の指導を含む。）、教育実習Ⅱ、学校体験活動、教職実践演習、教育学演習Ⅰ、教育学演習Ⅱ：准教授1名について、昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定。
- ・教職論：教育課程の充実のため、兼任教員2名を追加し2コマ増。「兼1」を「兼3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	176 科目	23 科目	229 科目	30 科目 [ 0 ]	177 科目 [ +1 ]	23 科目 [ 0 ]	230 科目 [ +1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	生命の科学Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	担当教員の副学長就任に伴い、後任の担当教員を検討したが適任者が得られなかった。教養基礎科目における選択科目は8単位であるが、文学Ⅰ・Ⅱ、こころの科学Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ各1コマを追加したことから2年度は休講とした。(2)
2	生命の科学Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	担当教員の副学長就任に伴い、後任の担当教員を検討したが適任者が得られなかった。教養基礎科目における選択科目は8単位であるが、文学Ⅰ・Ⅱ、こころの科学Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ各1コマを追加したことから2年度は休講とした。(2)
3	地域環境論	2	1・2前	一般	選択	担当教員の副学長就任に伴い、後任の担当教員を検討したが適任者が得られなかった。地域科目の選択科目は4単位であるが、他に11科目開設していることに加え、インターシップⅡ及びまちづくり実践の担当教員を追加したことから2年度は休講とした。(2)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和2年度未開講科目3科目については、いずれも選択科目であり、各科目群に他の科目が開設されていることに加え、コマ数や担当教員を増やす措置を行ったことから休講とした。いずれについても、講義時間割表及び履修ガイダンスで周知しており、学生の混乱はなかった(2)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{229} = \boxed{1.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	83,104.22 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	83,104.22 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	84,928.00 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	84,928.00 m <sup>2</sup>			
	小 計	168,032.22 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	168,032.22 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	109,418.37 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	109,418.37 m <sup>2</sup>			
	合 計	277,450.59 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	277,450.59 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	62,888.28 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	62,888.28 m <sup>2</sup>			
	(62,888.28 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	(62,888.28 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	48室 47室	35室	14室 15室	5室 (補助職員 4人 3人)	0室 (補助職員 0人)		
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	スポーツ科学部スポーツ科学科			室 数	24 室		
	スポーツ科学部							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具は、学部単 位での特定不能なた め、大学全体の数 大学全体の数 図書 348,720冊 〔86,760冊〕 学術雑誌 3,838種 〔1,350種〕 電子ジャーナル 73種 〔65種〕 視聴覚資料 14,608点 図書 360,956冊 〔87,035冊〕 学術雑誌 3,867種 〔1,354種〕 電子ジャーナル 74種 〔65種〕 視聴覚資料 8,097点 図書・視聴覚資料等の 見直しのため(2)
	スポーツ科学部	45,608 [11,298] <del>(44,336 [11,298])</del> <del>(43,211 [11,298])</del>	119 [31] 118 [31] <del>(119 [31])</del> <del>(118 [31])</del>	4 [3] 3 [3] <del>(4 [3])</del> <del>(3 [3])</del>	1,785 1,762 <del>(1,785)</del> <del>(1,762)</del>	26,697 (26,068)	0 0	
	計	45,608 [11,298] <del>(44,336 [11,298])</del> <del>(43,211 [11,298])</del>	119 [31] 118 [31] <del>(119 [31])</del> <del>(118 [31])</del>	4 [3] 3 [3] <del>(4 [3])</del> <del>(3 [3])</del>	1,785 1,762 <del>(1,785)</del> <del>(1,762)</del>	26,697 (26,068)	0 0	
(6) 図 書 館	面 積	10,459m <sup>2</sup>		閲覧座席数	582席	収納可能冊数	559,750冊	大学全体
	面 積	6,986m <sup>2</sup>		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
(7) 体 育 館	陸上競技場1面、野球場1面、グラ ウンドホッケー場1面		テニスコート9面、ゴルフ練習場、 武道場、弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度には、開設 前々年度の経費も含 む。共同研究費等は学 部単位での算出が不能 なため、大学全体。図 書費には電子ジャーナル データベースの整備費(運 用コスト含む)を含まな い。
	教員1人当り研究費等	225千円	225千円	図書購入費	3,003千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	3,852千円 4,350千円	4,350千円	設備購入費	354,776千円 354,781千円	26,356千円 25,877千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	全学予算による調整と 消費増税のため(2)
		1,360千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	一千円	一千円	申請学部全体
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	駿河台大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
法学部								-			
法律学科	4	220	3年次10	910	学士(法学)	1.12	1.18	-	昭和62	埼玉県飯能市大字阿須字一の木698番地	
経済経営学部								-	平成25	-	
経済経営学科	4	210	3年次10	850	学士(経済学、経営学)	1.23	1.23	-	平成25	同上	
経済と社会コース	4	80	-	320	学士(経済学)	-	-	-	平成25	同上	3年次よりコース選択
メディア情報学部								-	平成21	-	
メディア情報学科	4	140	3年次10	590	学士(メディア情報学)	1.14	1.25	-	平成21	同上	
現代文化学部								-	平成21	-	
現代文化学科	4	200	3年次20	620	学士(現代文化学)	1.05	-	-	平成21	同上	令和2年学生募集停止
スポーツ科学部								-	令和2	-	
スポーツ科学科	4	200	-	200	学士(スポーツ科学)	1.19	1.19	-	令和2	同上	
心理学部								-	平成21	-	
心理学科	4	140	-	560	学士(心理学)	1.18	1.20	-	平成21	同上	
心理学研究科								-	平成21	-	
臨床心理学専攻(修士課程)	2	15	-	30	修士(心理学)	0.20	0.33	-	平成21	同上	
犯罪心理学専攻(修士課程)	2	15	-	30	修士(心理学)	0.20	0.20	-	平成29	同上	
総合政策研究科								-	平成26	-	
法学専攻(修士課程)	2	7	-	14	修士(法学)	0.14	0.14	-	平成26	同上	
経済・経営学専攻(修士課程)	2	7	-	14		0.28	0.28	-	平成26	同上	
経済分野					修士(経済学)	-	-	-	平成26	同上	
企業経営分野					修士(経営学)	-	-	-	平成26	同上	
メディア情報学専攻(修士課程)	2	7	-	14	修士(メディア情報学)	0.35	0.28	-	平成26	同上	
大学全体	-	961	50	3,832	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	教授(学部長)	吉野 貴順 <令和2年4月> 博士(医学)	専任	教授(学部長)	吉野 貴順 <令和2年4月> 博士(医学)
	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツの測定評価※ スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツの測定評価※ スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	
専任	教授	大貴 秀明 (高) <令和2年4月> M.A. in Movement Studies (Dance) (英国)	専任	教授	大貴 秀明 (高) <令和2年4月> M.A. in Movement Studies (Dance) (英国)
	健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ科学入門B※ スポーツ哲学 専門実技(ダンス) 身体文化論 海外スポーツ文化研修 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			スポーツ科学入門B※ スポーツ哲学 専門実技(ダンス) 身体文化論 海外スポーツ文化研修 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	
専任	教授	坂本 静男 (高) <令和3年4月> 医学博士	専任	教授	坂本 静男 (高) <令和3年4月> 医学博士
	健康とスポーツの医学A 健康とスポーツの医学B ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			健康とスポーツの医学A 健康とスポーツの医学B ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	
専任	教授	鹿倉 二郎 (高) <令和2年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専任	教授	鹿倉 二郎 (高) <令和2年4月> 修士(スポーツ健康科学)
	救急処置法※ アスレティックトレーナー論 コンディショニング論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			救急処置法※ アスレティックトレーナー論 コンディショニング論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	
専任	教授	秋池 宏美 (高) <令和2年4月> 教育学修士	専任	教授	秋池 宏美 (高) <令和2年4月> 教育学修士
	ジェンダー論 教育と法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 道德教育の理論と方法 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ			ジェンダー論 教育と法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 道德教育の理論と方法 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ	
専任	教授	時本 謙資 <令和2年4月> 博士(政治学)	専任	教授	時本 謙資 <令和2年4月> 博士(政治学)
	教養基礎講座※ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ チームビルディング※ スポーツ・マネジメント 専門実技(自然活動A) 専門実技(自然活動B) 専門実技(プロジェクト・アドベンチャー) スポーツ政策論 生涯スポーツ論 スポーツと政治 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ チームビルディング※ スポーツ・マネジメント 専門実技(自然活動A) 専門実技(自然活動B) 専門実技(プロジェクト・アドベンチャー) スポーツ政策論 生涯スポーツ論 スポーツと政治 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士	専	教授	狐塚 賢一郎 <令和2年4月> 教育学修士
		プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ まちづくり実践 専門実技(ラグビー) 専門実技(スキー・スノーボード) 生涯学習論※ スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 保健体育科教育法Ⅰ※
専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	教授	大森 一伸 <令和2年4月> 博士(人間科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ スポーツ科学入門A※ トレーニングサイエンス 専門実技(サッカー) スポーツ生理学 スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※	専	教授	平井 純子 <令和2年4月> 修士(地理学)※
		プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 飯能学 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 飯能学 森林文化Ⅰ まちづくり実践 レクリエーション論 エコツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※	専	教授	天野 宏司 <令和2年4月> 修士(教育学)※
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 観光学 フィールドトリップ※ 地域社会と観光 文化資源とスポーツ スポーツ・ツーリズム論 地域スポーツ実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	藤村(岡田) 安芸子 <令和2年4月> 博士(文学)
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 倫理学Ⅱ 日本の文化と倫理 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 日本の暮らしと文化 日本伝統文化論 歴史探訪※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	平野 和弘 <令和2年4月> 教育学士	専	准教授	平野 和弘 <令和2年4月> 教育学士
		スポーツ教育学 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 特別活動の指導 生徒指導 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ			スポーツ教育学 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 特別活動の指導 生徒指導 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ
専	准教授	久我 晃広 <令和2年4月> 修士(人間科学)	専	准教授	久我 晃広 <令和2年4月> 修士(人間科学)
		スポーツ科学入門A※ スポーツの測定評価※ スポーツ・バイオメカニクス 専門実技(ホッケー) スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			スポーツ科学入門A※ スポーツの測定評価※ スポーツ・バイオメカニクス 専門実技(ホッケー) スポーツ測定法※ スポーツ測定法実習※ スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	小林 将輝 <令和2年4月> 修士(学術)※	専	准教授	小林 将輝 <令和2年4月> 修士(学術)※
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ 海外語学演習 異文化とスポーツ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ 海外語学演習 異文化とスポーツ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	朴 周鳳 <平成32年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	朴 周鳳 <平成32年4月> 博士(人間科学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ文化論 スポーツ史 専門実技(柔道) スポーツ人類学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ文化論 スポーツ史 専門実技(柔道) スポーツ人類学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	信太 直己 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	信太 直己 <令和2年4月> 博士(人間科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 労働衛生Ⅰ 労働衛生Ⅱ スポーツ科学入門A※ ヘルスサイエンス 衛生学・公衆衛生学 スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 労働衛生Ⅰ 労働衛生Ⅱ スポーツ科学入門A※ ヘルスサイエンス 衛生学・公衆衛生学 スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名	
専	准教授	輪海 未祐子 <令和2年4月> 博士(教育学)	専	講師	輪海 未祐子 <令和2年4月> 博士(教育学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 教育と文化 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 教育学概論 教育制度論 教育実習Ⅰ(事前事後の指導を含む。) 教育実習Ⅱ 学校体験活動 教職実践演習 教育学演習Ⅰ 教育学演習Ⅱ
専	准教授	小丸 超 <令和2年4月> 博士(社会学)	専	准教授	小丸 超 <令和2年4月> 博士(社会学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ科学入門B※ スポーツ社会学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	丸藤 祐子 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	専	准教授	丸藤 祐子 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 運動生理学 運動処方論 加齢とスポーツ 健康運動プログラムの作成 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	准教授	飯田 悠佳子 <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)	専	准教授	飯田 悠佳子 <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 救急処置法 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ			プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 救急処置法 発育・発達とスポーツ 学校保健 スポーツ教育実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	MATTHEWS JOEL DAVID <令和2年4月> 修士(学術)	専	講師	MATTHEWS JOEL DAVID <令和2年4月> Ph. D (East Asian Studies) (米國)
		国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 海外語学演習			国際社会と日本 プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 欧米の暮らしと文化 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 海外語学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	邑木 隆二 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(ジョギング・ウォーキング) 専門実技(陸上競技) スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	田中 輝海 <令和2年4月> 博士(心理学)
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	鈴木 慶子 <令和2年4月> 修士(体育科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技(体づくり運動) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
兼任	教授	明石 真和 <令和3年4月> 文学修士※
兼任	教授	ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ
		葉 紅(梶山 葉紅) <令和2年4月> 文学修士※
兼任	教授	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ
兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士
		環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ 生命の科学Ⅰ 生命の科学Ⅱ 地域環境論
兼任	教授	八木(木下) 真奈美 <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅢA 日本語ⅢB
兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士(社会学) コミュニケーション論
兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士(経済学) 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	邑木 隆二 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(ジョギング・ウォーキング) 専門実技(陸上競技) スポーツコーチング論※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	田中 輝海 <令和2年4月> 博士(心理学)
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ スポーツ心理学 スポーツ心理学実習 スポーツコーチング論※ スポーツ健康実習※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
専	講師	鈴木 慶子 <令和2年4月> 修士(体育科学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 専門実技(体づくり運動) ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ
兼任	教授	明石 真和 <令和3年4月> 文学修士※
兼任	教授	ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ
		葉 紅(梶山 葉紅) <令和2年4月> 文学修士※
兼任	教授	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	教授	佐古 年穂 <令和3年4月> Ph.D (Middle East and Asian Languages and Cultures) (米国) インターンシップⅠ
兼任	教授	伊藤 雅道 <令和2年4月> 農学博士
		環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ
兼任	教授	八木(木下) 真奈美 <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅢA 日本語ⅢB
兼任	教授	岩熊 史朗 <令和3年4月> 博士(社会学) コミュニケーション論
兼任	教授	佐川 和彦 <令和2年4月> 博士(経済学) 経済学Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士(文学)
		文学Ⅱ 歴史学Ⅱ 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy(英国) ※
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント(DCM)修士(専門職) ※
		現代社会とメディア
兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士(医学)
		こころの科学Ⅰ 現代人と心理Ⅰ
兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※
		生涯学習論※
兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士(物理)
		現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ インターンシップⅡ まちづくり実践
兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士(日本史学)※
		歴史学Ⅰ 地域と歴史
兼任	教授	油井(高井) 恵 <令和2年4月> 修士(学術)※
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	増田(石井) 珠子 <令和2年4月> 修士(文学)※
		文学Ⅰ 歴史学Ⅰ 子ども文化論 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	教授	上河内(徳本) 千香子 <令和4年4月> 博士(法学)
		スポーツと法
兼任	教授	朴 昌明 <令和3年4月> Ph.D. in Economics(韓国)
		労働と社会 韓国語演習Ⅰ 韓国語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	准教授	小林 奈穂美 <令和2年4月> 修士(保健学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ インターンシップⅠ
兼任	准教授	梅村 慶嗣 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)
		キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 キャリア実践Ⅰ キャリア実践Ⅱ キャリア実践Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	海老澤 豊 <令和2年4月> 博士(文学)
		文学Ⅱ 歴史学Ⅱ
兼任	教授	福田 二郎 <令和2年4月> Master of Philosophy(英国) ※
兼任	教授	大久保 博樹 <令和3年4月> デジタルコンテンツマネジメント(DCM)修士(専門職) ※
		現代社会とメディア
兼任	教授	馬場 存 <令和2年4月> 博士(医学)
		現代人と心理Ⅰ
兼任	教授	野村 正弘 <令和4年4月> 理学修士※
		生涯学習論※
兼任	教授	本池 巧 <令和2年4月> 博士(物理)
		現代自然科学Ⅰ 現代自然科学Ⅱ <b>人工知能概論</b> インターンシップⅡ まちづくり実践
兼任	教授	黒田 基樹 <令和2年4月> 博士(日本史学)※
		歴史学Ⅰ 地域と歴史
兼任	教授	油井(高井) 恵 <令和2年4月> 修士(学術)※
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ
兼任	教授	増田(石井) 珠子 <令和2年4月> 修士(文学)※
		文学Ⅰ 歴史学Ⅰ 子ども文化論 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	教授	上河内(徳本) 千香子 <令和4年4月> 博士(法学)
		スポーツと法
兼任	教授	朴 昌明 <令和3年4月> Ph.D. in Economics(韓国)
		労働と社会 韓国語演習Ⅰ 韓国語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	准教授	小林 奈穂美 <令和2年4月> 修士(保健学)
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ フィールドトリップ※ インターンシップⅠ
兼任	准教授	梅村 慶嗣 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)
		キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 キャリア実践Ⅰ キャリア実践Ⅱ キャリア実践Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中川(山田) 洋子 <令和2年4月> 博士(言語学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 海外語学演習
兼任	准教授	前田 悦子 <令和2年4月> 修士(経済学)※
		ライフサイクルと社会保障 インターンシップⅡ
兼任	准教授	長尾 建 <令和2年4月> 修士(文学)※
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 文学Ⅰ 文学Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 異文化と文学 歴史探訪※ 地域と文学
兼任	准教授	佐竹(杉谷) 由帆 <令和2年4月> M.A. TESOL(英国)※
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	准教授	近藤 育代 <令和3年4月> 博士(文学)
		教育相談※
兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※
		インターネット文化論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	准教授	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学
兼任	講師	TODD, JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M.A. English Education(米 国)
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)
		キャリア基礎Ⅰ キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践Ⅰ
兼任	講師	石川 賢一 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		生涯学習論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中川(山田) 洋子 <令和2年4月> 博士(言語学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 海外語学演習
兼任	准教授	前田 悦子 <令和2年4月> 修士(経済学)※
		ライフサイクルと社会保障
兼任	准教授	長尾 建 <令和2年4月> 修士(文学)※
		教養基礎講座※ プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ 文学Ⅰ 文学Ⅱ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ 異文化と文学 歴史探訪※ 地域と文学
兼任	准教授	佐竹(杉谷) 由帆 <令和2年4月> <b>博士(学術)※</b>
		プレゼミナールⅠ プレゼミナールⅡ プレゼミナールⅢ プレゼミナールⅣ
兼任	准教授	近藤 育代 <令和3年4月> 博士(文学)
		教育相談※
兼任	准教授	山下 尚一 <令和2年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	准教授	八田 真行 <令和2年4月> 修士(経済学)※
		インターネット文化論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	准教授	杉本 英晴 <令和2年4月> 博士(心理学)
		<b>まちづくり実践</b> 教育心理学
兼任	准教授	TODD, JAMES. RUCYNSKI <令和2年4月> M.A. English Education(米 国)
		英語ⅡA 英語ⅡB <b>英語演習Ⅰ</b> 英語演習Ⅱ 海外語学演習
兼任	講師	小山 知子 <令和2年4月> 修士(キャリアデザイン学)
		キャリア基礎Ⅱ キャリア発展 ライフプランニング キャリア実践Ⅰ
兼任	講師	石川 賢一 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		生涯学習論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	石田 若菜 <令和2年4月> 修士(法学)※	兼任	准教授	石田 若菜 <令和2年4月> 修士(法学)※
		憲法概論			憲法概論
兼任	助教	石川 真知子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (濠國)	兼任	講師	石川 真知子 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (濠國)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B 英語演習 I 英語演習 II			英語 I A 英語 I B  英語 III A 英語 III B 英語演習 I 英語演習 II
兼任	助教	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※	兼任	助教	太田 康友 <令和2年4月> 修士(医科学)※
		コンピュータ・リテラシー I コンピュータ・リテラシー II			コンピュータ・リテラシー I コンピュータ・リテラシー II
兼任	助教	林田 光弘 <令和3年4月> 修士(法学)	兼任	講師	林田 光弘 <令和3年4月> 修士(法学)
		現代社会と法			現代社会と法
			兼任	教授	塚本 美恵子 高 <令和2年4月> Master of Arts (Family and Community Education) (米國)
					インターシップ II
			兼任	教授	小澤 伸光 高 <令和2年4月> 経営学修士※
					インターシップ II
			兼任	教授	原 隆 高 <令和2年4月> 教育学修士
					こころの科学 I 森林文化 I 森林文化 II
			兼任	教授	町田 欣弥 高 <令和2年4月> 工学士
					インターシップ II
			兼任	教授	小俣 謙二 高 <令和2年4月> 博士(心理学)
					こころの科学 II
			兼任	教授	千草 幸雄 高 <令和2年4月> 法学士
					インターシップ II
			兼任	教授	木塚 隆志 <令和2年4月> 博士(文学)
					インターシップ II
			兼任	教授	孔 炳龍 <令和2年4月> 博士(金計学)※
					まちづくり実践
			兼任	准教授	金 基弘 <令和2年4月> 博士(芸術工学)
					まちづくり実践
			兼任	講師	山崎 謙広 <令和2年4月> 博士(学術)
					インターシップ II
			兼任	講師	島原 知大 <令和2年4月> 文学修士※
					英語演習 I 英語演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)
兼任	講師	孫 国震 <令和2年4月> 文学修士※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	蔦 威婷 <令和2年4月> 社会学修士 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(体カトレーニング)
兼任	講師	森 敏生 <令和3年4月> 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 <令和3年4月> 博士(都市科学) 健康と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内田 いづみ <令和2年4月> 修士(文化情報学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	助教	須永 隆広 <令和2年4月> 修士(英語コミュニケーション)※ 英語ⅡA 英語ⅡB 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ
兼任	講師	山下 浩 <令和3年4月> 教育学士 特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	内田 文夫 <令和3年4月> 文学士 道徳教育の理論と方法
兼任	講師	笹 寿美子 <令和2年4月> 英文学士 日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	松林 幸一郎 <令和2年4月> 体育学士
兼任	講師	中條 克俊 <令和3年4月> 経済学士 教職論 総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	中村 千秋 <令和4年4月> 体育学修士 解剖生理学
兼任	講師	申 奎燮 <令和2年4月> 文学修士※ 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB
兼任	講師	橋口 道代 <令和4年4月> 修士(ソーシャル・イノベーション) 国際交流とスポーツ
兼任	講師	富樫 泰一 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(アクア・マリンスポーツ)
兼任	講師	孫 国震 <令和2年4月> 文学修士※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	蔦 威婷 <令和2年4月> 社会学修士 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語演習Ⅱ
兼任	講師	長畑 芳仁 <令和3年4月> 体育学修士 専門実技(体カトレーニング)
兼任	講師	森 敏生 <令和3年4月> 教育学修士 保健体育科教育法Ⅰ※
兼任	講師	井上 直子 <令和3年4月> 博士(都市科学) 健康と文化



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石山 育朗 <令和2年4月> 教育学修士
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(バレーボール) 専門実技(バスケットボール)
兼任	講師	岡田 啓美 <令和2年4月> 文学修士
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB
兼任	講師	浜野 兼一 <令和3年4月> 教育学修士※
		特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 <令和4年4月> 教育学修士
		教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 <令和2年4月> Master of Science(Exercise Science)(米園)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(水泳) スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ <令和3年4月> 教育学修士
		総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 <令和2年4月> 博士(学術)
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB
兼任	講師	蛭間 純子 <令和2年4月> 学士(Bachelor Arts)(米園)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(フィットネスA) 専門実技(フィットネスB) 健康・体力づくり指導法
兼任	講師	花屋 哲郎 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		生徒指導
兼任	講師	中川 直樹 <令和2年4月> 体育学修士
		からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技(テニス)
兼任	講師	笛木 寛 <令和2年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ スポーツ指導者論
兼任	講師	長沼 佐代子 <令和3年4月> 心理学博士
		現代人と心理Ⅱ
兼任	講師	村山 光子 <令和3年4月> 修士(総合政策)※
		特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	趙 珠恩 <令和2年4月> 文学修士
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB
兼任	講師	櫻井(小島) 千絵 <令和2年4月> 修士(文学)
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石山 育朗 <令和2年4月> 教育学修士
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ 専門実技(バレーボール) 専門実技(バスケットボール)
兼任	講師	岡田 啓美 <令和2年4月> 文学修士
兼任	講師	浜野 兼一 <令和3年4月> 教育学修士※
		特別活動の指導
兼任	講師	三尾 忠男 <令和4年4月> 教育学修士
		教育の方法と技術
兼任	講師	蛭間 栄介 <令和2年4月> Master of Science(Exercise Science)(米園)
		専門実技(水泳) スポーツインストラクター指導論
兼任	講師	金沢 はるえ <令和3年4月> 教育学修士
		総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	李 善姬 <令和2年4月> 博士(学術)
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB
兼任	講師	蛭間 純子 <令和2年4月> 学士(Bachelor Arts)(米園)
		専門実技(フィットネスA) 専門実技(フィットネスB) 健康・体力づくり指導法
兼任	講師	花屋 哲郎 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		生徒指導
兼任	講師	中川 直樹 <令和2年4月> 体育学修士
		からだの科学Ⅰ からだの科学Ⅱ 専門実技(テニス)
兼任	講師	笛木 寛 <令和2年4月> 体育学修士
		スポーツ指導者論
兼任	講師	長沼 佐代子 <令和3年4月> 心理学博士
		現代人と心理Ⅱ
兼任	講師	村山 光子 <令和3年4月> 修士(総合政策)※
		特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	趙 珠恩 <令和2年4月> 文学修士
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB
兼任	講師	櫻井(小島) 千絵 <令和2年4月> 修士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉本(兼松) 美穂 <令和3年4月> 修士(文学)
		日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ
兼任	講師	ネヴィン 朋子 <令和2年4月> 教育学修士
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	安井 健一郎 <令和2年4月> 開発学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	山口 真里 <令和3年4月> 教育学修士
		ジェンダー論
兼任	講師	角替 弘規 <令和2年4月> 修士(教育学)
		教職論
兼任	講師	千葉 庄寿 <令和2年4月> 修士(文学)
		北欧文化論
兼任	講師	西村 拓郎 <令和2年4月> 学士(経済学)
		森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ
兼任	講師	津崎 正行 <令和2年4月> 独文学修士
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	講師	洪 明真 <令和3年4月> 修士(教育学)
		ホスピタリティ論
兼任	講師	武 正憲 <令和3年4月> 博士(環境学)
		専門実技(パドルスポーツ)
兼任	講師	櫻澤 裕樹 <令和3年4月> 博士(環境学)
		専門実技(自然活動C)※
兼任	講師	神野 賢二 <令和3年4月> 修士(社会学)
		専門実技(自然活動C)※
兼任	講師	佐藤 美幸 <令和3年4月> 博士(心身障害学)
		特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	永作 稔 <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学 特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※ 教育相談※ 進路指導
兼任	講師	穴戸 涉 <令和2年4月> 修士(体育学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ メンタルトレーニング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉本(兼松) 美穂 <令和3年4月> 修士(文学)
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ
兼任	講師	ネヴィン 朋子 <令和2年4月> 教育学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	安井 健一郎 <令和2年4月> 開発学修士
		英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	山口 真里 <令和3年4月> 教育学修士
		ジェンダー論
兼任	講師	角替 弘規 <令和2年4月> 修士(教育学)
		教職論
兼任	講師	千葉 庄寿 <令和2年4月> 修士(文学)
		北欧文化論
兼任	講師	西村 拓郎 <令和2年4月> 学士(経済学)
		森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ
兼任	講師	津崎 正行 <令和2年4月> 独文学修士
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	講師	洪 明真 <令和3年4月> 修士(教育学)
		ホスピタリティ論
兼任	講師	武 正憲 <令和3年4月> 博士(環境学)
		専門実技(パドルスポーツ)
兼任	講師	櫻澤 裕樹 <令和3年4月> 博士(環境学)
		専門実技(自然活動C)※
兼任	講師	神野 賢二 <令和3年4月> 修士(社会学)
		専門実技(自然活動C)※
兼任	講師	佐藤 美幸 <令和3年4月> 博士(心身障害学)
		特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※
兼任	講師	永作 稔 <令和2年4月> 博士(心理学)
		教育心理学 特別支援教育Ⅰ※ 特別支援教育Ⅱ※ 教育相談※ 進路指導
兼任	講師	穴戸 涉 <令和2年4月> 修士(体育学)
		メンタルトレーニング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉松 梓 <令和4年4月> 修士(体育学)
		アダプテッドスポーツ論
兼任	講師	武田 哲子 <令和4年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	小池 太 <令和2年4月> Master of Outdoor and Environmental Education (米国)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ
兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 <令和2年4月> 修士(体育学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ
兼任	講師	仲宗根 森敦 <令和3年4月> 修士(体育学)
		専門実技(器械運動) 運動学
兼任	講師	持田 隆平 <令和2年4月> 修士(人間科学)
		こころの科学Ⅰ こころの科学Ⅱ
兼任	講師	飯塚 哲司 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)
		救急処置法 専門実技(水泳)
兼任	講師	浅野 公貴 <令和3年4月> 修士(法学)
		労働基準法 労働安全衛生法Ⅰ 労働安全衛生法Ⅱ
兼任	講師	高井 寛 <令和2年4月> 修士(文学)
		倫理学Ⅰ
兼任	講師	小柳 将吾 <令和2年4月> 修士(体育科学)
		チームビルディング※
兼任	講師	ANTHONY. HUGH. LAWRENCE <令和2年4月> B.A. (Hons) Japanese & Economic History (米国)
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	榎 和男 <令和2年4月> 文学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	高津 宣剛 <令和2年4月> 専門学校
		コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	講師	小重 俊明 <令和2年4月> 教育学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	田中 達一 <令和3年4月> 修士(法学)
		労働基準法 労働安全衛生法Ⅰ 労働安全衛生法Ⅱ
兼任	講師	王 佩民 <令和2年4月> 博士(法学)
		中国語ⅡA 中国語ⅡB
兼任	講師	岡部 一宏 <令和2年4月> 工学士
		敬福論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉松 梓 <令和4年4月> 修士(体育学)
		アダプテッドスポーツ論
兼任	講師	武田 哲子 <令和4年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ栄養学
兼任	講師	小池 太 <令和2年4月> Master of Outdoor and Environmental Education (米国)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ
兼任	講師	米澤(高橋) 麻佑子 <令和2年4月> 修士(体育学)
		健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ
兼任	講師	仲宗根 森敦 <令和3年4月> 修士(体育学)
		専門実技(器械運動) 運動学
兼任	講師	持田 隆平 <令和2年4月> 修士(人間科学)
		こころの科学Ⅰ こころの科学Ⅱ
兼任	講師	飯塚 哲司 <令和2年4月> 修士(スポーツ科学)
		救急処置法 専門実技(水泳)
兼任	講師	高井 寛 <令和2年4月> 修士(文学)
		倫理学Ⅰ
兼任	講師	小柳 将吾 <令和2年4月> 修士(体育科学)
		チームビルディング※
兼任	講師	ANTHONY. HUGH. LAWRENCE <令和2年4月> B.A. (Hons) Japanese & Economic History (米国)
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	榎 和男 <令和2年4月> 文学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	高津 宣剛 <令和2年4月> 専門学校
		コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	講師	小重 俊明 <令和2年4月> 教育学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	田中 達一 <令和3年4月> 修士(法学)
		労働基準法 労働安全衛生法Ⅰ 労働安全衛生法Ⅱ
兼任	講師	王 佩民 <令和2年4月> 博士(法学)
		中国語ⅡA 中国語ⅡB
兼任	講師	岡部 一宏 <令和2年4月> 工学士
		敬福論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	藤 貴玉 <令和2年4月> 教育学修士 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB
			兼任	講師	百野 瑞恵 <令和2年4月> 博士(文学) 文学Ⅰ 文学Ⅱ
			兼任	講師	田島 智也 <令和2年4月> 農学士 森林文化Ⅰ 森林文化Ⅱ
			兼任	講師	佐藤 由美 <令和2年4月> 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB
			兼任	講師	小野 雅子 <令和2年4月> Master of Arts (the Division of the Humanities) (米國) 英語ⅠA 英語ⅠB
			兼任	講師	渡邊 浩子 <令和2年4月> 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB
			兼任	講師	尾崎 文太 <令和2年4月> 博士(学術) フランス語ⅠA フランス語ⅠB
			兼任	講師	北條 陽子 <令和2年4月> 修士(経済学) 経済学Ⅱ
			兼任	講師	岡田 大助 <令和2年4月> 修士(学術) 憲法憲論
			兼任	講師	高 権旭 <令和2年4月> 修士(言語学)※ 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB
			兼任	講師	KENNETH JOSEPH McCLAIN Ⅲ <令和2年4月> Master of Science (Communication and Multimedia) (米國) 英語ⅡA 英語ⅡB
			兼任	講師	矢久保 典良 <令和2年4月> 博士(史学) 歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ
			兼任	講師	千田 英司 <令和2年4月> 修士(政治学)※ 中国語ⅠA 中国語ⅠB
			兼任	講師	木川 明彦 <令和2年4月> 博士(專業情報学) コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
			兼任	講師	JAMIL KARIM <令和2年4月> BA in philosophy (米國) 英語ⅡA 英語ⅡB
			兼任	講師	恵良 友也 <令和2年4月> 修士(体育科学) 健康・スポーツ実習Ⅰ 健康・スポーツ実習Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・年次計画に基づき今年度担当授業科目の一部を担当しない教員  
大貫秀明教授、平井純子教授、朴周鳳准教授、小丸超准教授、飯田悠佳子准教授、松林幸一郎兼任講師、蛭間栄介兼任講師、蛭間純子兼任講師、笹木寛兼任講師、穴戸渉兼任講師、
- ・昇任審査継続中（社会への貢献度）のため講師として配置、年度内に昇任選考予定  
鷗海未祐子准教授
- ・学位取得  
MATTHEWS JOEL DAVID専任講師、佐竹（杉谷） 由帆兼准教授、
- ・昇進  
TODD. JAMES. RUCYNSKI兼担講師から兼担准教授、石田若菜兼担講師から兼担准教授、石川真知子兼担助教から兼担講師、林田光弘兼担助教から兼担講師
- ・担当教員の負担減のための変更（科目の減）  
伊藤雅道兼担教授、八木（木下）真奈美兼担教授、佐川和彦兼担教授、海老澤豊兼担教授、福田二郎兼担教授、馬場存兼担教授、油井（高井）恵兼担教授、前田悦子兼担准教授、佐竹（杉谷）由帆兼担准教授、山下尚一兼担准教授、石川真知子兼担講師、申奎燮兼任講師、岡田啓美兼任講師、趙珠恩兼任講師、櫻井（小島）千絵兼任講師、安井健一郎兼任講師、
- ・担当教員の負担減のための変更（科目の増）  
原聰兼担教授、小侯謙二兼担教授、内田いづみ兼担講師、須永隆広助教、杉本美穂兼任講師、ネヴィン朋子兼任講師、ANTHONY. HUGH. LAWRENCE兼任講師、堺和男兼任講師、海津宜則兼任講師、小室俊明兼任講師、鄭寅玉兼任講師、佐藤由美兼任講師、小野雅子兼任講師、渡邊浩子兼任講師、尾崎文太兼任講師、北條陽子兼任講師、高橋旭兼任講師、KENNETH JOSEPN McCLAIN Ⅲ兼任講師、千田英司兼任講師、木川明彦兼任講師、JAMIL. KARIM兼任講師、恵良友也兼任講師
- ・教育課程の充実のための担当科目追加  
本池巧兼担教授、杉本英晴兼担准教授、TODD. JAMES. RUCYNSKI兼担准教授、塚本美恵子兼担教授、小澤伸光兼担教授、原聰兼担教授、町田欣弥兼担教授、千草孝雄兼担教授、木塚隆志兼担教授、孔炳龍兼担教授、金基弘兼担准教授、山崎義広兼担講師、島原知大兼担講師、須永隆広助教、笹寿美子兼任講師、中條克俊兼担講師、ネヴィン朋子兼任講師、王佩民兼任講師、岡部一宏兼任講師、吉野瑞恵兼任講師、田島哲也兼任講師、岡田大助兼任講師、矢久保典良兼任講師
- ・教育内容の均質化のための変更  
小山知子兼担講師
- ・就任辞退（他大学就任）  
浅野公貴兼任講師
- ・後任補充  
田中建一兼任講師

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **課で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
11	9	4	0	24	0	10	7	5	0	22	0
(10)	(8)	(4)	0	(22)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	8	5	0	24	0	11	9	4	0	24	0
[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ +1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{24} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{22} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
1		該当なし												
2														
合計			後任補充状況の集計											
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <スポーツ科学部 スポーツ科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 令和2年度学年暦及び授業計画（シラバス） 春学期について4月10日開始の15週で実施。</p> <p>② 学外実習を実施する場合の具体的計画 専攻導入科目「チームビルディング」における 学外で実施する「プロジェクト・アドベンチャー」に ついて4月5日から7日の間、2班にて1泊2日で実施</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染リスク拡大の状況に鑑み 春学期の学年暦について5月13日開始の13週に変更 するとともに、当面5回程度をオンライン授業として 実施する。シラバスは13週で15週相当の内容を行う よう変更。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染リスク拡大の状況に鑑み 宿泊を伴う実習を中止し、9月中旬・日帰りでの実施 を計画中。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）  
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p><b>【全学的取組】</b></p> <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会</p> <p>教員の教育研究活動の質的向上を図るため、全学的組織として、FD委員会が設置されている。 教務担当副学長を委員長とし、各学部教授会から選出された専任教員として、各学部教務委員会委員長及び副委員長、共通教育センターの各センター長、教職課程主任、資格課程主任、並びに事務局の学務部長により構成される。委員会には、このほか、事務局として教務課長が出席している。</p> <p>※FD委員会規程は次の通りである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>(目的)</p> <p>第1条 駿河台大学学則第10条第1項及び第31条の3第3項に基づき、本学教員の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するため、駿河台大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。</p> <p>(1) 副学長の中から学長が指名した者</p> </div>
---

- (3) 教職課程主任
  - (4) 資格課程主任
  - (5) 各共通教育センター及びグローバル教育センター並びにキャリアセンターから選出された専任教員
  - (6) 学務部長
- (任期)

第3条 前条第2号及び第5号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任は妨げない。

(委員長)

第4条 委員会の長は、第2条第1号の委員をもって充てる。

(審議事項)

第5条 委員会は次の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) FD研修会に関する事項
- (3) その他FDに関する事項

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、学務部教務課が担当する。

(その他)

第8条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成26年7月3日から施行する。

平成28年4月1日一部改正。

平成30年4月1日一部改正。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度にFD委員会を12回開催した。

平成31年04月11日（木）出席者数15名、令和元年05月16日（木）出席者数16名、

令和元年06月13日（木）出席者数16名、令和元年07月11日（木）出席者数16名、

令和元年09月19日（木）出席者数14名、令和元年10月03日（木）出席者数15名、

令和元年12月12日（木）出席者数16名、令和元年11月14日（木）出席者数16名、

令和2年01月16日（木）出席者数16名、令和2年02月06日（木）出席者数15名、

令和2年03月05日（木）出席者数16名、令和2年03月23日（月）出席者数16名

c 委員会の審議事項等

FD委員会は、教育研究活動改善の方策、全学FD研修会の企画・実施に関する事項について審議する。

② 実施状況

a 実施内容

ア) 全学研修会（教育力）

イ) 授業公開・見学

ウ) 全学授業アンケート

エ) 授業改善計画書

オ) 新任教員のための研修

カ) 全学研修会 「入試」「学生支援」「就職」「ハラスメント防止」「学生相談」「財務」「研究」「防災」  
「大学評価」「地域連携」「情報セキュリティ」

b 実施方法

ア) 全学研修会（教育力）

原則として、全専任教員が出席する全学研修会を開催し、毎年度テーマを設定して共通理解の下に授業運営、授業改善等に生かしている。

イ) 授業公開・見学

春学期・秋学期に専任教員が担当する授業公開の期間を設け、専任教員による授業見学を行っている。

ウ) 全学授業アンケート

教育内容及び教育方法に対する学生の評価や授業に対する学生のニーズ等を把握するため、学生による授業評価を行っている。

エ) 授業改善計画書

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。

オ) 新任教員のための研修

本年度本学に着任した新任教員が「新任教員研修セミナー」（大学セミナーハウス主催）を受講している。

カ) 全学研修会 「入試」「学生支援」「就職」「ハラスメント防止」「学生相談」「財務」「研究」「防災」「大学評価」「地域連携」「情報セキュリティ」

大学全体のSDとして、全教職員を対象として各研修会を実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア) 全学研修会（教育力）

平成31年4月25日（木） 専任教員参加率95.6%

令和元年10月3日（木） 専任教員参加率93.0%

イ) 授業公開・見学 14件

ウ) 全学授業アンケート 春学期は7月に1033授業、秋学期は12月に1046授業を対象に実施。

エ) 授業改善計画書 2・3月に実施。全体提出率68.0%、専任教員は令和元年度授業担当者113名全員提出。

授業アンケートの結果を受けて、年度末に授業改善計画書の作成を義務付けている。

オ) 新任教員のための研修 9月2日（月）～4日（水）新任教員11名中7名参加

カ) 全学研修会

「入試」令和元年5月9日（木） 専任教員参加率94.7%

「学生支援」令和元年5月23日（木） 専任教員参加率94.7%

「就職」令和元年6月6日（木） 専任教員参加率95.6%

「ハラスメント防止」令和元年6月20日（木）～9月19日（木）eラーニング 専任教員参加率92.0%

「学生相談」令和元年7月4日（木） 専任教員参加率93.8%

「財務」令和元年7月11日（木） 専任教員参加率94.7%

「研究」令和元年9月26日（木） 専任教員参加率95.6%

「防災」令和元年10月24日（木） 専任教員参加率87.7%

「大学評価」令和元年11月7日（木） 専任教員参加率93.0%

「地域連携」令和元年11月7日（木） 専任教員参加率93.0%

「情報セキュリティ」令和元年12月12日（木） 専任教員参加率87.7%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート結果、授業改善計画書については、教授会で報告されており、学部FD・SD会議の実施結果とともに各教員の授業改善に役立てている。

【学部としての取組】

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部FD・SD会議の設置。

b 実施方法

原則月1回の割合で定期的に教育内容・教育方法や教職員に必要な知識及び技能を習得させ能力・資質を向上させるための取組を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度に学部FD・SD会議を7回開催した。なお、学部開設前であるため現代文化学部における取組を記載している。

平成31年04月25日（木） 出席者数24名、令和元年05月30日（木） 出席者数24名、  
令和元年06月27日（木） 出席者数18名、令和元年07月25日（木） 出席者数24名、  
令和元年10月24日（木） 出席者数18名、令和元年12月05日（木） 出席者数21名  
令和2年02月05日（水） 出席者数21名  
学部教員定数24名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

2年次必修演習担当者会議報告等を通じた成果は学部教員の授業実践に反映されている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期科目は春学期授業の11・12週目、通年科目と秋学期科目は秋学期授業の11・12週目に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は、授業アンケートシステムを通じて担当授業の結果を確認できる。

全授業のデータは、すべての科目を綴じる形で、学内の所定の位置に開架している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

駿河台大学スポーツ科学部は、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき教育研究をすることにより、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献することを目的としている。

また、スポーツ科学部では、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築するために、スポーツ科学の理論的な知識に基づき、学校、地域及びスポーツが関連する領域において、今日のスポーツの意義や価値をふまえ、健康の維持増進、生涯スポーツ時代の青少年のスポーツ教育又は地域の活性化に貢献できる人材を養成することとしている。

このような趣旨等については、オープンキャンパスを始めとした学生募集時や、入学後に行われる「学部ガイダンス」や「プレゼミナールⅠ・Ⅱ」などの1年次生を対象とした演習や講義、さらには大学ホームページなどを通じて、学生への浸透をはかっている。

また、この教育目的に従ったカリキュラムを設定し教育を行っている。今後も申請内容に従って計画を実施し、学部創設の特色を生かした人材の育成に努めていく所存である。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和4年4月 公表

###### b 公表方法

大学ホームページ上に公開

##### ③ 認証評価を受ける計画

・令和3年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。